

第 52 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

1. 日 時:2012 年 8 月 7 日(火) 13 時 30 分～16 時 40 分
2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者:青山(東大)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)、幅野(IHI)、原田(東芝)、逢澤(日立)、
橋本(発電技検)、北村(関電)、水谷(東工大)
代 理:愛川[鈴木(日溶協)]
欠 席:山下(神鋼)、飯田(東電)
オブザーバー:中村(中電)
事務局:海野(記)

4. 配付資料

- 52-1 . 第 51 回溶接分科会議事録(案)
- 52-2 . 溶接分科会委員名簿
- 52-3 . 第 60 回火力専門委員会議事録(案)
- 52-4 . 第 61 回規格委員会議事録(案)
- 52-5 . 発電用火力設備規格の活用要請の保安院への提出について
- 52-6 . ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱い(案)
- 52-7 . 発電用設備規格委員会ホームページ ファイル共有機能の運用について(案)
- 52-8 . 次回改訂時検討項目の整理
- 52-9 . 次回改訂時の作業ルールについて

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 52-1]

前回議事録(案)について確認を行った結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 52-2]

新任候補として中村氏の推薦があったことが報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、梅山委員の退任が報告され、再任委員は対象なしであることが報告された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 52-3]

第 60 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 溶接分科会委員・役員の承認
- ・ 第 51 回溶接分科会報告
- ・ 発電用火力設備規格在庫及び2012年版出版手続きの事務局対応について
- ・ JESC用補足説明資料案の報告について

- ・ 次回改訂作業の方針について審議し ASME は 2011Addenda, 火技解釈は改正動向を注視し, 改正された場合には取り込む方針とした

(3-2) 規格委員会報告

[資料 52-4]

第 61 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3) JESC 本委員会審査結果報告

[資料 52-5]

5 月 31 日に開催された日本電気技術規格委員会 (JESC 本委員会) 審査の結果, JESC より省令への技術要素及びその技術的要件を満たす規格であるとの回答があった旨, 報告された。あわせて JESC より原子力・安全保安院電力安全課長宛に活用要請の文書が発行されたことも報告された。(資料は JESC 発行文書の写し)

(3-4) SI 換算ルール調整状況報告

[資料 52-6]

ASME からの SI 値換算ルールについて原子力専門委員会関係者との調整を進めており, その状況報告がなされた。火力専門委員会にて報告するため, 意見は 8 月 17 日までに茂田井幹事まで連絡することとなった。

(3-5) ファイル共有システム運用ルール案について

[資料 52-7]

10 月を目途に仮導入を予定している発電用設備規格委員会ホームページのファイル共有システムについて仮導入に向けた, 運用ルール案が報告された。本件について意見がある場合は, 事務局まで連絡することとなった。仮導入後に一定期間各委員会にて利用されてから運用ルールを正式に内規化することとなっていること, また火力専門委員会内での統一ルールが必要となる場合に, ルール策定に協力をお願いしたい旨, 事務局より依頼された。

(4) 審議事項

(4-1) 次回改訂作業について

[資料 52-8]

前回(2012 年版)の書面投票意見対応を踏まえ, 次回改訂時の検討項目を整理し, 方針を審議した。審議結果は以下のとおり

- ・ 基本規定に関する検討項目については, 三役にて作業分担、作業フローを検討し、次回分科会にて提案することとした。
- ・ 日本語として分かりにくい点については詳細規定改定作業時に各担当者が修正することとした。
- ・ 構造分科会の検討事項のうち溶接分科会に関連するものについても三役にて検討の方向性を検討し、次回分科会にて提案することとした。

(4-2) 次回改訂時の作業ルールについて

[資料 52-9]

規格原稿作成要領の審議

- ・ 各委員作成の 2012 年版の規格原稿が、規格原稿作成要領に沿っていない部分があり、校正作業に労力を要したことから、原稿作成要領について再確認を行った。また、規格原稿作成要領について、各章毎の現状の原稿に即した様式例を追加した修正案が承認された。
- ・ 規格原稿以外に事務局にてパブコメ募集用見え消し版原稿を作成しているが、各委員によって修正履歴の表示方法が統一されていないことから、簡単な統一ルールを事務局にて作成し、提示することとなった。

その他改訂時の作業ルールとして「レビュー票記載例」、「標準審議フロー」、「スケジュール」、「審議履歴表」、「標準用語リストの運用について」について再確認を行い、「レビュー票記載例」については、茂田井幹事にて次回改訂作業用に修正し、各委員へ送付することとなった。

また、次回改訂作業の作業分担は、前回 2012 年版の作業分担どおりとすることが確認された。

(4-3) その他

構造分科会から依頼のあった ASME Section VIII division1 MANDATORY APPENDIX 42 DIFFUSION BONDING の取り込みについては、樺田副主査にて検討することとした。なお、他の委員からも DIFFUSION BONDING について知見があれば情報提供いただくこととした。

6. 次回開催予定

日 時: 2012 年 11 月 13 日 (火) 13:30~17:00

場 所: 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上